

Yumekien

春

2023 Vol.697

◆特集○話題の焦点

2025国スポ、障スポの舞台に!
新施設『滋賀ダイハツアリーナ』と
『平和堂HATOスタジアム』誕生

◆夢インタビュー

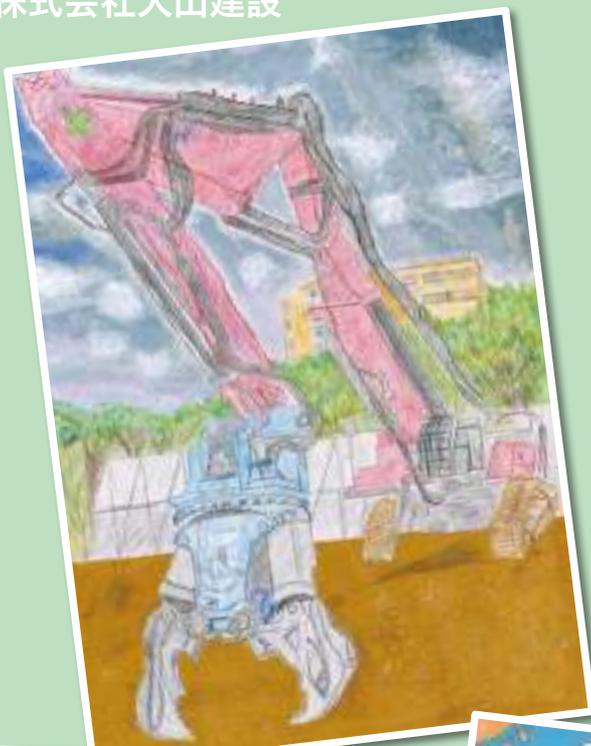
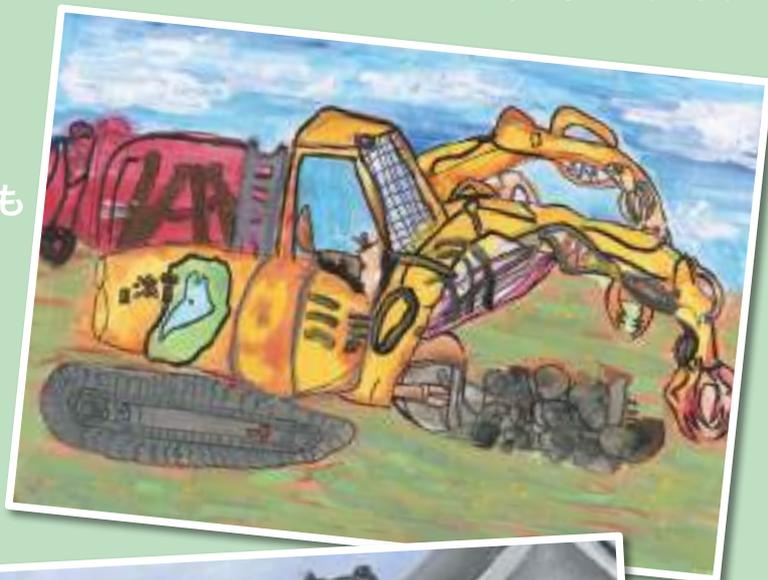
空き家をリノベーションして居場所づくりに
移住のハードルを下げるトライアルの拠点にも

◆行ってみよう

BIG・BREATH(ビッグ・ブレス)

◆おじゃまします

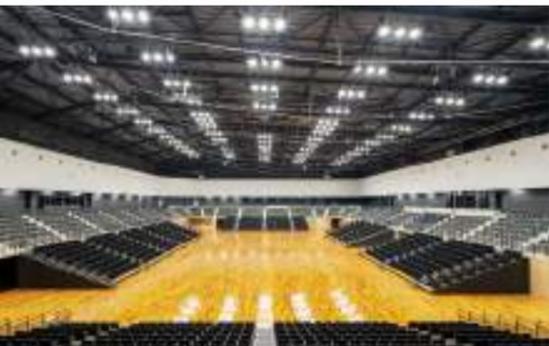
株式会社大山建設



2025国スポ、障スポの舞台に！ 新施設『滋賀ダイハツアリーナ』と 『平和堂HATOスタジアム』誕生

2025年に開催予定の『第79回国民スポーツ大会』『第24回障害者スポーツ大会』の核となる施設、『滋賀ダイハツアリーナ』と『平和堂HATOスタジアム』が完成しました。

2つの施設について、概要や特徴のほか環境面への配慮や、将来にわたって効率的な維持管理や運営を行うための工夫などについてレポートしました。



体操・バスケットボール・バドミントン・車いすバスケットボールの会場となるメインアリーナ



大津市にある『滋賀ダイハツアリーナ』

『滋賀ダイハツアリーナ』(滋賀アリーナ)

5,000人収容できる
メインアリーナ

老朽化が進んでいた滋賀県立体育館(ウカルちゃんアリーナ)に代わって、国スポ、障スポの開催基準に適合するアリーナとして建設が計画された『滋賀ダイハツアリーナ』。「すべての県民がスポーツに参画し健康づくりに取り組むとともに、さまざまな交流や連携を通じて、元気で豊かな生活と滋賀を創造する県域の拠点を目指すこと」をコンセプトに施設建設が進められました。

メインアリーナはバスケットボールコート3面が確保できる県内最大約2,900平方メートルの広さで、2階の固定席は2,502席、1階の収納型の席は1,600席で、仮設席を含めると県内最多の約5,000席となっています。

ほかにバレーボールやバドミントン、卓球、ハンドボール、フットサル、ソフトテニスなどの競技で利用できるようになっています。アリーナの周囲には一周260メートルの屋内ランニングコースも設けられています。また、バスケットボールコートは一面、バレーボールコートなら2面取れるサブアリーナは、広さ約1,300平方メートルで、観客席は約200席、メインアリーナ同様さまざまな種目で利用することができます。館内にはトレーナーが常駐するトレーニング



ダンスやヨガなどの教室に利用される多目的室



観客席200席のサブアリーナ



憩いのスペースとしても利用できる『森のテラス』



トレーナーが常駐するトレーニングルーム

グループや、ダンスやヨガなどの教室に利用できる多目的室、キッズルームや授乳室、会議室などもあり、2階のデッキには芝を張った『森のテラス』が設けられています。『森のテラス』は、スポーツ目的でない人でも周囲の自然を楽しめる憩いのスペースとして利用できるようになっていて、今後、青空ヨガや星空観覧会なども行われる予定です。敷地内には良質な人工芝で多様なスポーツが楽しめる多目的広場もあって、大きなイベントが開催される時には臨時駐車場として利用される予定です。



図書館のある『なかはま文化福祉プラザ』



長浜市産木材を使ったぬくもりのある内装

湖国 街かど ウォッチング

新しい施設や街の話題をレポートするコーナーです。

『長浜市立長浜図書館』(『なかはま文化福祉プラザ』内)

令和元年に旧長浜市役所の跡地に完成した複合施設「なかはま文化福祉プラザ」。長浜市立長浜図書館のほかに、長浜まちづくりセンター、長浜市地域福祉センター、ながはま市民協働センターが入居、市民の交流と知の拠点となる多機能型施設として、境界をできるだけなくした一体的な施設づくりが工夫されています。

エントランスを入ると出会いや交流の場となるフリースペースと、まちづくりセンターと図書館共通のカウンターが設置されているほか、一般向けの小説や雑誌のコーナー、10代の若者向けの図書を集めたコーナーなどの図書館エリアと、まちづくりセンターの会議室や音楽



屋外で読書が楽しめるテラス席 活動の様子が外から見える音楽室



趣味や暮らしなどテーマごとにまとめた『テーマの本棚』

子どもから大人へ向かう世代を対象にした『YAの本棚』 「けやきっ子の本棚」の壁は図書館スタッフが手づくりしたもの

を選んで本を楽しめるよう工夫されています。既存の図書館などを視察して得た情報やアイデアを設計に取り入れるため、計画当初から市民、行政、関係者が協働で取り組み、設計者とも話し合いを重ねました。時には書架などを実際にダンボールで作って高さや角度を評価するなど、誰にとっても使いやすい図書館となるよう検討を重ね、「本と人、人と人がつながる学びと交流の拠点」となる図書館を目指しました。

図書館と市民活動施設がボーダレスにつながっていることや、懇話会やワークシヨップを開催しながら市民、行政、関係者が協働して、時間をかけて施設づくりを行ったことなどが評価され、昨年、公益社団法人・日本図書館協会の第38回図書館建築賞を受賞しています。

- 長浜市高田町12-34
- 0749-63-2122
- <https://lib.city.nagahama.lg.jp/index.php?flg=topics&sflg=9>
- 休館日 火曜日、毎月最終木曜日、年末年始

C O N T E N T S

湖国街かどウォッチング……………	2
『長浜市立長浜図書館』(長浜市)	2
特集・話題の焦点……………	3
2025国スポ、障スポの舞台に！ 新施設『滋賀ダイハツアリーナ』と 『平和堂HATOスタジアム』誕生	3
行ってみよう……………	6
イブキスポーツパーク	6
『BIG・BREATH』	6
おじやまします……………	8
株式会社大山建設	8
絵画コンクール入賞作品……………	10
夢インタビュ……………	13
空き家をリノベーションして 居場所づくりに	13
移住のハードルを下げる トライアルの拠点にも	13
空家再生みらいづくり隊	13
石崎達郎さん 浅井孝子さん	13
夢けんひるば……………	14
こと・もの・滋賀……………	16
クラフトミイダリー	16
『ANTELOPE』	16
「仕事の達人・遊びの達人」……	17
誕生会のケーキで社内が和やかに 休日にはアートやデザイン本で インプット	17
鹿野悦子さん	17
クイズ	17
近江うまいもの紀行……………	18
読者の声	18
取材こぼれ話……………	19
編集後記	19
表紙写真 夢けんフラサ絵画コンクール 最優秀賞・優秀賞受賞作品 10〜12ページに掲載	19



フィールドがより近く感じられるように工夫されている。



2層構造になっているメインスタンドの観客席



県産材を使ったエントランス受付

滋賀県産の木材などで
滋賀らしさを表現

建物には滋賀県産の木材が内装にも外装にも使用されていて、さらに館内のサインボードには信楽焼が採用されています。高さを必要最小限に抑えることで、周辺の自然環境との調和を図り、外壁には琵琶湖のさざなみを表現したパネルを用いて滋賀県らしさが表現されています。



信楽焼のサインボード

また、小さな子どもから高齢者、障がいのある人まで、誰にとっても安全で使いやすい施設になるよう、動線や案内表示、設備などが工夫されていて、南北に伸びる建物中央の通路「スポーツフロムナード」の両側に、メインアリーナとサブアリーナ、更衣室や会議室が配置することで、立ち寄りやすく利用しやすいシンブルでわかりやすいゾーング

民間の資金やノウハウを活用する
BTO方式を採用

「滋賀ダイハツアリーナ」については、公共施設等の建設、維持管理、運営などに、民間の資金や経営ノウハウ、技術力を活用するPFI方式の1つBTO (Build-Transfer-Operate)方式が採用されています。民間事業者が施設の設計・建設を行った後、所有権を滋賀県に移管し、維持管理やメンテナンス業務は民間事業者が行うのがBTO方式です。

施設を活用した今後の取り組みとして、運営会社の「しがクロス株式会社」では、子どもや高齢者、障がい者など、多様な対象者に向けた多彩なプログラムのほか、アスリート向けのプログラムで、県民の健康づくりやスポーツ振興をサポートすることを目指しています。大学のコーチが指導するパドミントンとバレーボールの講座を開講したところ、県内から多くの中高生が受講しました。

また、隣接する滋賀医科大学や近隣の大学と連携して、健康づくり講座やスポーツ体験教室、イベントなどを開催することで交流やにぎわいの創出を図り、スポーツや健康づく

る「安全で安心な競技場」という5つをコンセプトとして設計されました。

例えば、メインスタンドの観客席を2層構造にすることで、フィールドとの距離を短くして臨場感を向上させているほか、建物の幅や屋根の架設面積を可能な限り縮小して建設コストを抑えるよう工夫されています。建物全体のコンパクト化を図ることで、周辺の緑地面積をできるだけ確保したほか、内側に傾斜した形状で周辺に与える圧迫感を軽減しました。また、彦

根の歴史的景観にマッチするよう、スタジアムの外観は柱を規則的に連続させて「櫓」をイメージしたデザインになっています。



「櫓」をイメージしたデザインの外観

周辺環境・自然環境への配慮も

遮光・防音のためスタジアムの側面に取り付けられたルーバーは、表面に保護性鍍(安定鍍とも呼ばれる)を形成するよう設計されたコールドレン鋼(耐候性鋼)という鋼材で、メンテナンスや塗装の費用を低減できるうえ、経年変化で風合いが増して周囲の景観との調和が進むことが期待できます。

そして、危険な段差をなくし、2階観客席の周囲にスタジアムを一周するスタジアムリングを設けたことで、メインスタンド、バックスタンド、南北のサイドスタンドへのアクセスが容易にできるようになっています。スタジアムリングは3つの階段と一つのスロープで、公園内のさまざまな施設につなが

りの拠点としての役割を果たしていくことになり。また、プロバスケットボールチーム「滋賀レイクス」の新しいホームアリーナとして、公式戦が行われることで、県外からバスケットボールファンが大津を訪れることが期待されています。

平和堂HATOスタジアム
(彦根総合スポーツ公園陸上競技場)

県内唯一の第1種陸上競技場



彦根総合スポーツ公園の中に建設された「平和堂HATOスタジアム」

「平和堂HATOスタジアム」は、『第79回国民スポーツ大会』と『第24回障害者スポーツ大会』の開会式や閉会式、陸上競技を行うための主会場として整備されました。両大会を開催するためには、国スポ会場の施設基準を満たす第1種陸上競技場が必要でしたが、県内には第1種陸上競技場がなかったため、第2種陸上競技場や野球場のある滋賀県立彦根総合運動場を都市公園として再整備し、その一環として県内唯一の第1種陸上競技場を建設することになったのです。

計画に当たっては、彦根城の世界遺産登録に向けた取り組みや防災機能の強化に配慮した建物形状と、使いやすさや安全性、環境負荷の削減などを考慮して、「コンパクトな競技場」「歴史景観に配慮した競技場」「周囲を自由に回遊できる」「環境負荷の削減を図れる雨水を、災害発生時にはトイレの洗浄水などに利用できるようなっています。

2年後に開幕する国スポ、障スポでは、県内各地の会場で全国から集まったアスリートによって繰り広げられる熱戦が今から楽しみです。

そして、両大会終了後も「滋賀ダイハツアリーナ」と「平和堂HATOスタジアム」が県民に親しまれ、スポーツ振興や健康づくりの拠点として末永く活用されたいと思っています。



滋賀県産材を使ったエントランスホール



スタジアムを一周するスタジアムリング



大階段と金亀公園に直結する連絡橋(左)



スタジアムリングへの大階段



ラウンジの一角に設けられたキッスルーム



障がいのある選手のための更衣室

滋賀ダイハツアリーナ
 ●メインアリーナ 約2,945m²、観客席5,016席
 ●サブアリーナ 約1,331m²、観客席200席
 ●トレーニング室、健康・体力測定室、多目的室、多目的広場ほか
 ●大津市上田上中野町779番地
 ●TEL.077-545-0108
 ●営業時間 8:00~22:00
 ●https://shiga-arena.jp

平和堂HATOスタジアム
 第1種公認陸上競技場
 ●建築面積 約14,235m²
 ●レーン数 400m×9レーン
 ●収容人数 約1万5,000人
 (メインスタンド 約7,000人)
 滋賀県営都市公園彦根総合スポーツ公園
 ●彦根市松原町3028
 ●0749-23-4911
 ●https://www.bsn.or.jp/hikone/

米原市大野木

自然の中で楽しむスポーツ&アクティビティ
イブキスポーツパーク
『BIG・BREATH』

米原市にある総合複合型スポーツ&アクティビティ施設『BIG・BREATH』は、サッカーやテニスのほか、遊具エリアやふれあいパーク、キャンプやバーベキューが楽しめるサイトなどが整備されていて、家族で楽しく過ごせるのが魅力です。
昨年夏にはスケートボードパーク、今年1月にバドミントンセンターがオープン。スポーツやアクティビティを通して地域の魅力を発信する拠点として注目が集まっています。



ゲート

サッカースタジアム

高品質な人工芝のフットサルコート3面(40m×20m)、雨でも安心な屋内コート2面(29m×16m)がある県下最大級のサッカースタジアム。屋内コートはテニスコートとしても利用できます。酸素ルームやジム、ミーティングルームなども完備。
小学生を中心としたサッカースクールをはじめ、個人でも参加できるイベントも定期的に開催しています。



屋内コート フットサルコート

スケートボードパーク

東京オリンピックで一躍注目を集めたスケートボード専用の施設。プロスケーターがパーク設計を手がけた本格的なパークで、県内最大級の約1,000㎡の面積を誇りナイター設備も完備。
初心者にも滑りやすい「フラットス

ペースのほか、「ストリートコース」「ポウル」「Rスペース」の4エリアからなり、オリジナルデザインの変化に富んだコースが整備されています。



スケートボードパーク

テニスコート

天候に関係なくテニスを楽しむための屋内コート2面完備しており、1年を通してプレーを楽しめます。砂入り人工芝(オムコート)なので足腰に優しく幅広い年齢の方でも安心して利用できます。



屋内コート

バドミントンセンター

硬式対応のバドミントンコート5面を完備、バーチャル映像が流れて選手と対戦しているかのような臨場感も味わえます。さらに、ストラックアウト用ボックスでは2人対戦用ストラックアウトなど、さまざまな遊び方ができます。



バドミントンセンター

ふれあいパーク

性格が穏やかで可愛いポニーとヤギが飼育されているふれあいパークでは、小さなお子さんでも安心して乗馬体験やエサやり体験が楽しめます。
また、隣接する「乗馬場」では本格的な乗馬体験のほか、乗馬未経験者でも指導員のサポートを受けながら騎乗してコースを歩く体験乗馬メニューも用意されています。



乗馬場

アスレチックパーク

小さなお子さん向けの可愛い複合アスレチック遊具。隠れ家のような空間が設けられていて、子どもたちの好奇心や想像力を刺激します。



アスレチックパーク

キャンプ&バーベキューサイト

枕木で仕切られていてプライバシー感のある区画サイトには電源や手洗い場、屋根付きのバーベキュースペースがあっても快適。ワンちゃん同伴もOKなので愛犬と一緒にキャンプやバーベキューを楽しむことができます。
芝生のフリーサイトには、施設が管理するファイヤーピットがあり、キャンプファイヤーを楽しむことができます。



ファイヤーピット キャンプ&BBQサイト

カフェ「Cafe Calm」

ウッドデッキのハンギングブチエアや、園内が一望できる屋上のソファなど、おもしろい場所で伊吹の豊かな自然を感じながらホックリできます。



カフェ

恐竜たち

駐車場では巨大なブラキオサウルスがお出迎え。そしてパーク内ではティラノサウルスやトリケラトプスなど、大迫力の恐竜ミニユメントが4体、記念撮影にもお勧めです。



恐竜

●米原市大野木1777
TEL: 0749-56-0695
●アクセス
名神「米原IC」から車で約15分
●「スケートボードパーク」
10時～21時
利用料/平日1,000円、土日祝日1,500円
●「えんぱーく」
10時～18時(11月～12月は17時まで)
入場料/大人500円、4歳～小学生300円、3歳以下無料
* その他の利用料金はウェブサイトでご確認ください。
●定休日 火曜日

ホームページ

インスタグラム

各部門が強みを活かし 付加価値の高い提案ができる企業に

株式会社大山建設

高島市安曇川町西万木504-1

代表取締役社長 大山 祐司

社員の拡充を目指し 環境整備に取り組み

創業70周年にあたる2020年7月に4代目の代表取締役就任した大山 祐司氏。「自宅が会社の隣にあったので、祖父や父、従業員のみなさんが仕事をする姿を見て育ち、自然にこの仕事をする事になるだろうと思うようになった」と振り返ります。土木を専攻し、卒業後は別の建設会社で働いた後、1999年に同社に戻り、長く現場で工事に携わってきました。そして、代表に就任してからは、社員の拡充とそれを実現するために、給与、休日、福利厚生などの環境整備に力を入れてきました。長期休暇をしっかり取得することを奨励するほか、今年の4月からは土木、建築、本社もすべて完全週休二日制に移行することになり、業務の効率化を図るため、ソフトの導入やDX（デジタル技術の活用）化を進めています。また、定年後の社員を継続雇用して、書

現場スタッフに新卒を採用、 女性の活躍に期待

現在、同社には現場で業務を行っている女性社員が4名いますが、そのうち2名は昨年新卒で採用した社員です。昨年、社屋を改修して、食堂のほか更衣室や女性用トイレを整備したのに続いて、今年は本社社屋の改修も予定しています。女性の活用について、「出産育児などのタイミングで解決すべき課題も出てくると思うが、その都度考えながら、働きやすい職場にしていきたい」と言う大山社長。女性の視点を活かした発想や提案などに期待を寄せています。社員教育については、外部講師による研修を行うほか、新入社員研修では不動産業



建設部棟フロア



建設部棟会議室



建設部棟食堂



本社社屋



建設部棟

「そのためには、これまで祖父の代から県内を中心にさまざまな仕事をさせていただく中で、築いてきた信用を守ること。また、協力会社と互いに支え合う関係を大切にしたい。品質の高い工事を適正な価格で行うことで、相互にメリットがある関係を築いていくことが大切になる」と語ります。さらに「どの建設会社でも図面通りの工事はできるが、これからはそれにプラスして、大山に任せたらこういうことまでできる。と言われるよう、付加価値をつけていくことが必要になる。そういう意識を持って仕事ができる人材を育てていくことが求められている」と言う大山社長。「トップが考えるより各部門で何を強みにしていくのか、考えてほしいと投げかけているところで、そこから何を強化していくか、進むべき方向性を見定めていきたい」と、未来を展望しています。

や生コンクリート製造業のほか、フィットネスクラブなどを運営する大山ホールディングス内のすべての業務を体験することになっています。さらに大山社長は、「今年の新入社員から、自分の考えを直接話す機会を設けたい。なんのために働くのか、なぜ会社が存在しているのか、わからないままに仕事をしているケースが多いので、こういう目的と意義があるということ伝えていきたい」と考えています。

**付加価値のある仕事で
選ばれる会社に**

大山社長は「今は5年先を読むのが難しい時代で、なかなか長期的なビジョンを描きづらい」としながらも、まずは会社と全社員が時代の変化に合わせて同じ目標



生コンプラント



〈施工例〉砂防ダム工事・滋賀県発注



〈施工例〉道路改良工事・滋賀県発注



〈施工例〉工場建築工事・民間発注



〈施工例〉橋梁下部工事・滋賀県発注



〈施工例〉道路改良工事・国交省発注



大山 祐司代表取締役

「夢けんプラザ絵画コンクール」の審査も10回目となりました。今年もコロナ禍の影響が続いていますが、多くの応募作品のおかげで活動を継続することが出来ました。これも参加して下さった皆様や関係者の方々のご尽力によるものと感謝しております。今回は、各テーマとも非常に興味深い作品が多く寄せられました。例えば「工事ではたらく人」では、女性が活躍する楽しい工事現場を描いた作品や、「工事ではたらく機械」では、機械ではなく昆虫が動くユニークな作品が印象に残りました。また「滋賀の建設物」では、身近な風景を丁寧に描くことで、作者の郷土への関心の高さがうかがえました。これらの作品を通して、豊かな自然や多くの文化財を有する滋賀県の恵まれた環境が、未来のもののづくりを担う若い世代を育てているのだと実感いたしました。次回も素敵な作品に出会えるのを楽しみにしております。

第10回 『夢けんプラザ絵画コンクール』

次世代を担う子どもたちに向けて、建設産業の魅力を発信する目的でスタートした滋賀県建設業協会の「夢けんプラザ絵画コンクール」。安全で快適な暮らしを送るためのインフラ整備や、まちの豊かな環境の整備など、多くの役割を建設産業が担っていることや、その役割の大切さに関心を持ってもらい、子どもたちの豊かな感性や観察力、創造力を育むことを目的に開催される、県内の小中学生を対象とした絵画コンクールです。

テーマ

第1部
小学校低学年
の児童

- ①「工事ではたらく人」
工事をしている未来の自分
工事現場でがんばって働く人の様子
思わず働きたくなるような、未来の建設現場
- ②「工事ではたらく機械」
あつたらしいなと思つた未来の建設機械
迫力ある建設機械
- ③「滋賀の建設物」
滋賀の建物や町並み
便利な生活を支え、災害から人々を守っている道路、橋、ダム

優秀賞



評 双腕作業機のアームを、まるで両腕の筋肉が躍動しているような生命感のある線描で表現しているところが魅力的な作品です。作者の、かっこいい「描きたい」という強い関心が伝わってきます。この機体は、ロボットへの憧れと自然災害など今日的な社会課題に対する需要から開発されたものです。作者の関心は、どのような未来に広がっていくのでしょうか。将来が楽しみです。

第2部
小学校高学年
の児童

最優秀賞



「働け解体機」
高橋 謙心
通称（ハサミ）と呼ばれるアタッチメントが繊細なタッチで描かれています。このようなモチーフは、油圧部分やハサミの形状など複雑な部品の組合せを考えながら描かなければなりません。作者の観察力や集中力の高さが伝わります。また、手前のハサミと操縦席の間の空間を意識することで、遠近感のあるダイナミックな画面に仕上げているのも魅力的な作品です。

優秀賞



「虫の建設グループ」
梅田 大輔

評 「昆虫たちの建設グループ」という世界観がユニークな作品です。大好きな昆虫の細かい描写とシンプルな背景の色面が美しいです。

「上から見た琵琶湖大橋」
竹端 紗和



評 まるでドローンで撮影したような琵琶湖大橋の風景を想像で描いています。難しいアングルに挑戦した意欲作です。

「木の本地蔵」
居川 結太



評 白く反射する瓦や、五色幕が揺れる様子など、光や風を感じさせる繊細な作品です。空のお地蔵様がアクセントになっています。

「なにができるのかたのしみだな」
東辻 宜大
評 たくさんの働く車たちが賑やかに作業している様子を、カラフルな色彩と画面全体を使った表現で描いています。ワクワク感が伝わる作品です。



入選 「未来の家を作るロボット」
菱中 碧

「うちゅうのマンションけんせつちゅう」
廣田 大和
評 美しい星空とユニークな無人建設機械が作品の世界観を見事に表現しています。宇宙人たちの様子も魅力的です。



入選 「国宝 彦根城」
平尾 梨菜

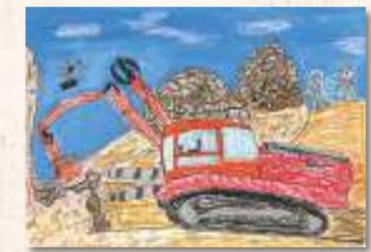
「あついのにおつかれさまです」
井上 優登
評 「おつかれさまです」と声をかけたら、みんなが振り返った瞬間を描いたような、心温まる作品です。働く人の視線と日焼けした肌の色が効果的です。



入選 「みえとこうべがつながるよ」
正田 理衣花



「がんばっているショベルカー」
柏吉晴



「みらいのショベルカー」
土田 風介



「つくってほしいなあ」
佐野 楓

入選



「こんな重機見たことない!!!」
金田 和佳



「おれの新しい学校
楽しみた!」
中井 遥斗



「ヨクバリ車」
村山 瑞希



「近くの川を守る神社」
柿本 彩希



「一齐に動きます」
安達 咲太朗



「月と彦根城」
新庄 安憲

最優秀賞

「八幡堀」
秋田 琉花



評

八幡堀の風景を中学生とは思えない圧倒的な画力で描き上げた秀作です。画面全体を落ち着いた色調で纏めながら、建物は緻密で滑らかなタッチで描き、水面や植物は動きのあるタッチで描くなど、多様な表現を使い分けながら重厚で調和の取れた画面に仕上げられています。今後が期待される優れた作品です。

優秀賞



「自分の地域から見た田中生コン」
竹内 仁夏

評 繊細な色の濃淡で丁寧に描いた味わい深い作品です。見慣れた風景のなかに、豊かな美を発見したことでしょう。作者の感動が伝わる作品です。



「守られてきた「日吉造」」
立原 もえ

評 日吉大社東本宮楼門の美しい木組を丁寧に描いた美しい作品です。貴重な文化財が数多く現存する滋賀県ならではの郷土愛を感じました。



「明るい工事現場」
片山 朗

評 工事現場で楽しそうに働く女性の姿が印象的な作品です。多様な画材の組み合わせもユニークで、特に張り紙のパワーショベルが効果的です。



「働く未来の自分」
岩野 文哉

「工事現場でがんばって働く人の様子」
大山 集弥



「朝日」
鳥井 結衣



「学校の始まりは稲枝から」
伊藤 慧信



「静かな夕暮れ〜一日を無事に終えて〜」
奥村 晁妃

入選

「永源寺 総門」
小林 娃娃



夢 Interview

空き家をリノベーションして居場所づくりにも 移住のハードルを下げるトライアルの拠点にも



活動についてのミーティング風景



DIY技術を磨く石崎さんと浅井さん

昨年4月に、空き家の再生や利活用、移住相談などを行う、米原市の第5期「空家再生みらいづくり隊員」に就任した浅井茅子さんと石崎達郎さん。

お二人に米原を移住先へ選ばれたきっかけや、米原での暮らし、今後の目標などについてお話をうかがいました。

●お二人が応募されたきっかけ、米原を移住先に選んだ理由について教えてください。

石崎 もともと自給自足の暮らしに関心があり、自然豊かな場所での「暮らし」を重視した生活をしたと移住先を検討するようになりました。ウェブサイトで移住先を探していたところ、米原市の「おためし地域おこし協力隊」を知り参加してみました。ほかに移住先の候補はありましたが、米原で出会った方々の生き生きとした姿に感動して、一緒に働きたいと思い移住を決めました。

浅井 心身の不調で休職した時に、田舎の風景のなかで過ごすことが回復につながったという経験から、自然の中で暮らすことや、日常を変化させることが心身の回復につながるのではないかと考えるようになりました。田舎の空き家を活用して生き方の選択肢を増やせる存在になりたいと思い、「田舎暮らし」「空家」などのワードで検索して米原の空家再生みらいづくり隊を知り応募しました。

●みらいづくり隊の仕事として普段はどんなことをされていますか？

石崎 週4日は「まいばら空家対策研究会」のスタッフとして、空き家探しや移住を希望される方の相談業務などを行っています。そして残り1日は将来、ここで生活していくための、なりわいづくりと



活用できる古民家を探して物件調査を行う浅井さん

なる「みらい活動」として、技術や知識の習得、人脈づくりなどを行っています。

浅井 私は「みらい活動」として、空き家を改修して活用するために必要な技術をDIY教室で学んだり、食を通して地域とかがわれるよう伝統食の調理法を教えるつもりです。また、地域の教育関係者や社会福祉協議会、子ども居場所を運営されている方などと出会ってお話を聞いたりしています。

石崎 衣食住を自給自足するという目標に向けて、移住してすぐに借りた畑で今は大豆や野菜を育てています。また、自家製醤油麹を作るワークショップを企画しています。3泊4日で移住に興味のある方に来てもらって、地元の方々と触れ合いながら田舎暮らしのトライアルしてもらおうというもので、不安を軽減して移住のハードルを下げることをができるのではないかと考えています。

●実際に1年間米原で生活されてどんな印象を持たれましたか？

浅井 田舎暮らしを始めたけれど、なかなか地元の方と馴染めなかつたことも耳にしています。声をかけていただいたり、ちよつとい距離感で地域に溶け込んでいると感じています。そして「みらいづくり」をやるために私を、



自家製醤油麹造りのワークショップを開く石崎さん

●これから取り組みたいこと、今後の目標などについて教えてください。

浅井 地域をまわりながら活用できる空き家を発掘して、移住希望者の相談役となるマッチングを進めていきたいです。ポロポロで活用が進まない空き家もリノベーションによる活用の幅が広がるようにしていきたいと思っています。

私自身も自分で空き家を魅力的な空間にリノベーションして、そこを都会で働くことに疲れた人のキャリアアップの場としたり、不登校などさまざまな背景を持つ子どもたちの居場所にしたと考えています。

石崎 今後は畑で育てたものの商品化も考えていきたいし、前述した醤油や味噌づくりのワークショップを継続しつつ、中長期で気軽に滞在できるお試し田舎暮らしの拠点をつくりたいと思っています。そして、移住のハードルを下げるお困りごと相談のようなおもひながら、暮らししていくために必要な地域の仕事や地元のみなさんと移住者の交流会を企画するなど、米原市の魅力を発信して移住につなげたいと思っています。



空家再生みらいづくり隊
石崎達郎さん 浅井茅子さん
広島県呉市出身。会社員を経て愛知県長久手市から米原市へ家族と移住。
愛知県日進市出身。教員・福祉職員を経て米原市へ移住。

『滋賀けんせつみらいフェスタ2022』を開催

滋賀県建設産業魅力アップ実行委員会主催で、建設産業の魅力を発信する『滋賀けんせつみらいフェスタ2022』を、令和4年10月29日に大津港前特設イベント会場にて開催しました。コロナ禍の中、感染防止対策を行いながらの開催となりましたが、多くのお客様に会場にいらしました。

官公庁および建設産業団体連合会加盟団体を中心に35ブースが出展、子どもたちに大人気の建設重機試乗体験やものづくり体験など、多くのお客様に楽しんでいただきました。

ステージでは滋賀県の若手・女性技術者表彰、作文コンクール・フォトコンテスト入賞表彰のほか、滋賀大学教育学部附属中学校音楽班による吹奏楽演奏、木下光希さんによるジャグリングパフォーマンス、滋賀県建設業協会青年部メンバー吉見大さんがボーカルを務めるバンド「SOIL」による演奏、滋賀県立膳所高等学校音楽班・滋賀大学教育学部附属中学校による吹奏楽演奏をお客様に観覧いただきました。

約3,600名のお客様にご来場いただき、盛況の中、幕を閉じることができました。

たくさんのご来場、ありがとうございました。



高校生の出前授業・現場見学会(長浜農業高等学校)

12月15日(木) 滋賀県立長浜農業高等学校園芸科2年生40名を対象に、出前授業と現場見学会を開催しました。

出前授業前半は、リクルートキャラバンから人気の漫画やゲームになぞらえた建設業の仕事の紹介を行い、その後、グループワークとして6つの班に分かれてA4用紙100枚で作る「ペーパータワー」の制作を実施しました。

制作会議5分、工事時間10分でグループごとにタワーを制作して、タワーの高さ、芸術点を競い合うもので、強度を高めるために土台を強くしたもの、高さにこだわったもの、コスト重視で最低限の枚数で作ったもの、思いのまま作った芸術的なものなど、それぞれのグループの個性が生かされたタワーができあがりました。

タワー制作の後、まず長浜市 大井川1期地区排水路第2工事現場(谷庄建設株)を見学、工事概要の説明後、最新の測量機器を使った測量、重機試乗を体験しました。

午後からは彦根市の大津能登川長浜線補助橋梁修繕工事現場(田中シビルテック株)を見学、工事概要説明後、2グループに分かれて、プラスト作業、ドローンシミュレータ、剥離剤除去を体験していただきました。



滋賀県建設業協会の活動について
ご紹介するコーナーです。
協会広報委員会のフェイス
ブックもあわせてご覧ください。

夢けんひろば

第57回滋賀県建設界野球大会を3大会ぶりに開催

新型コロナウイルスの影響で、一昨年は変則での大会、昨年は中止された滋賀県建設界野球大会が、3大会ぶりに通常の大会開催となり、8月27日(土)、9月3日(土)、10月8日(土)の3日間で23チームの参加により皇子山球場等において開催されました。

大会1日目の8月27日は、開会式と1、2回戦が行われました。開会式は、奥田大会会長の挨拶と山本大会運営委員長の大会訓示のあと、優勝旗、準優勝旗等の返還、八田建設チームの細木崇寛選手による選手宣誓が行われ、3日間に渡る大会が始まりました。

大会2日目の9月3日には、皇子山グラウンドで準々決勝が行われ、準決勝進出4チームが決まりました。大会最終日の10月8日に今津総合運動公園野球場で準決勝と決勝戦が行われ、準決勝は奥田工務店×桑原組、きんでん滋賀支店×西村建設の2試合が行われた結果、桑原組ときんでん滋賀支店の2チームが決勝に進出しました。

決勝戦は4対15で、きんでん滋賀支店が桑原組に勝利し、2大会連続4度目の優勝を飾りました。



優勝	きんでん滋賀支店
準優勝	桑原組
3位	奥田工務店
3位	西村建設
最優秀選手賞	中野真楠選手 (きんでん滋賀支店)
敢闘選手賞	七里純平選手 (桑原組)



絵画コンクール審査会

10月3日(月)、夢けんプラザにおいて第10回『夢けんプラザ絵画コンクール』の審査会が、成安造形大学の協力のもと開催されました。

県内65の小中学校、児童クラブより606点の応募をいただき、感性や観察力が豊かで力強い作品が多い中、第1部、第2部、第3部より最優秀賞、優秀賞、入選の合計30点の入賞作品が決定しました。

また、最優秀賞作品については、下記の日程で各学校を訪問し、表彰授与式を執り行いました。

受賞されたみなさんからは、作品に込めた思いなどをうかがうことができました。受賞者にとって良い思い出となり、建設業へのイメージ向上につながってほしいと思います。

第1部	長浜市立神照小学校	令和4年12月7日
第2部	栗東市立大宝東小学校	令和4年12月5日
第3部	近江八幡市立八幡西中学校	令和4年12月6日





仕事の達人、遊びの達人 私のオフタイム

誕生会のケーキで社内が和やかに 休日はアートやデザイン本で インプット

株式会社大兼工務店 鹿野 悦子



アイシングクッキーを飾ったケーキ

色もその一つで、色を統一したり整理に活かしたりできないかと、カラーコーディネート勉強を始めてみると、またこれにはまってしまい建築カラープランナーの資格を取りました。

その後、大兼工務店に入社して、資格や経験を生かして見学会の企画や撮影のコーディネート、広報全般を担当する

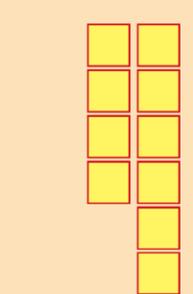
いと、自宅でも子供向けのお菓子教室を開いたのですが、自宅を教室にするため、片付け術を勉強し始めると、片付けにはまってしまいました。ライフオーガナイザーの資格を取得して、片付かなくて困っている方のご自宅に行き一緒に片付けたり、より暮らしやすい収納法をアドバイスしたりしているうちに、住まいの中にはいろいろな情報が入り混じっていることに気づきました。

休みの日には娘と一緒にケーキを作ったり、お菓子作りやアートやデザイン本を見るインプットはとても大切なことだと思っています。

製菓の専門学校を卒業後、横浜の製菓店でパティシエとして勤務していましたが、結婚を機に退職しました。が、やはりお菓子に関わる仕事をした



鹿野さんのケーキで祝う社内のお誕生会



- ① 〇〇ベラ
- ② ジサイ
- ③ リア
- ④ チュー
- ⑤ ス
- ⑥ デシコ
- ⑦ ツ
- ⑧ ミズキ
- ⑨ パン
- ⑩ ヤク



クイズ
花の名前穴埋めクイズ
おなじみの花の名前を完成させてください。
ヒント 特集「話題の焦点」を組み合わせると...

クラフトミーダーリー

『ANTELOPE』



福井さん(左)と谷澤さん



ドライに仕上がったクラフトミード [Giou] (右) と [Kinoshita]

会社・店舗情報
滋賀県野洲市永原551
営業時間 金・土 13:00~19:00

クラフトミードに大きな可能性を感じて

野洲市にある『ANTELOPE (アンテロップ)』は、2020年に代表の福井さんと醸造家の谷澤さんが立ち上げた日本初となるクラフトミードの醸造所です。



左から [Kinoshita] [The Last Supper] [What Churchill Said]

「ミードは甘いお酒というイメージが強いのですが、甘くないミードを造ることもできます。例えばワインでは難しいのですが、副原料にピンクグレープフルーツやブルーベリーやマンゴーなどを使用していることができたので、さらさらの素材そのものの味を引き出すことに大きな可能性を感じました」と福井さん。

伝統的なミードは蜂蜜と酵母、水だけで造られていますが、フルーツやスパイスなど副材料をいろいろ変えたり、熟成させたりすることで、甘味を控えたり、苦味を出したり、さっぱりした味や濃厚な味にしたりと、ワインやクラフトビールでは出会えない幅広い味わいを造りだせる無限大の可能性があると語ります。

アンテロップでは、ピンクグレープフルーツとアクセントに唐辛子を少し使用したものや、パイナップルとチェリーのミードなど常時数種類のミードを醸造しています。

「お酒の不思議な力」といいます。

もともと福井さんと谷澤さんはクラフトビールの醸造所を立ち上げる予定でしたが、クラフトビールの展示会でたまたま飲んだミードの美味しさに感動して、ミーダーリーの開設を目指すことになりました。

「ミードは甘いお酒というイメージが強いのですが、甘くないミードを造ることもできます。例えばワインでは難しいのですが、副原料にピンクグレープフルーツやブルーベリーやマンゴーなどを使用していることができたので、さらさらの素材そのものの味を引き出すことに大きな可能性を感じました」と福井さん。

マルシェなどのイベントに出展するほか、ウェブサイトでインスタグラムなどの発信に力を入れてきたところ、つねにアンテナを張り巡らしている飲食店や酒販店からコンタクトがあり、徐々にミードを扱ってくれるところが増えてきたというところで、また、クラフトミードの面白さを「支援者の方々と共に楽しむ」プロジェクトとして、クラウドファンディングで資金を募って、オープンハウスなどのイベントを行ってきました。開始して間もなく目標額に達したことから、ミードに関心を持った人や可能性を感じた人がたくさんいたことがわかります。

酒販店や飲食店に営業して売込むのではなく、「ミードの魅力を知っていただくことを大切にしている」と言う福井さん。醸造所がない



醸造所内にある直売所

とか、一般的なミードは甘みが強いので日本食に合わないとかで、たまたま日本ではこれまで飲まれてこなかったのですが、いきなり飛ぶように売れるのではなく、じわじわその魅力が浸透していつかいいと考えています。

そのためには福井さんと谷澤さんは真摯なものづくりに向き合い、納得のいく商品をお客様に届けることを大切に

ANTELOPEのミードはオンラインストアのほかウェブサイトで紹介されている取扱店で購入することができます。また、毎週金曜日と土曜日には醸造所でも販売しています。

【公式サイト】
<https://antelopebeer.com/>

【Instagram】
https://www.instagram.com/antelope_honeywine/



手土産にもおすすめ！

絶品レモンケーキ『長浜れもん』(長浜市)

JR長浜駅の近くに昨年5月にオープンした「町家浪漫菓子 中嶋菓子店」。築約100年の古民家をリノベーションしたレトロな雰囲気のお店で、店内には古い柱時計やミシンなどがディスプレイされています。

レモンケーキ『長浜れもん』は、観光で長浜を訪れた人にはおみやげに、また地元の人には手みやげや贈り物になるような新たな長浜の銘菓になればと、店主の中嶋亮介さんが考案しました。



しっとりしたケーキにレモンフレーバーチョコをのせた「長浜れもん」

しっとりとしたケーキに、レモンのフレーバーと酸味を効かせたレモンコーティングチョコをのせて、コロンとした見た目も可愛い焼き菓子です。

優しい甘さとすっきりとした酸味、アクセントにあしらわれたレモンピールが絶妙なバランスで、食べ飽きない美味しさ。お店のシンボルでもある柱時計のイラストをあしらったパッケージもとてもおしゃれで、お土産やプレゼントにぴったりです。



古民家をリノベーションしたショップ



ショーケースに並ぶケーキ

ほかに『さざなみリーフパイ』や、お店のある町名から取った『船町カステラ』など、長浜らしい焼き菓子がそろっています。

「できるだけ地元素材を使い、幅広い年齢層のお客様に喜んでいただけるお菓子を提供したい」と言う中嶋さん。ショーケースには季節のフルーツをたっぷり使ったショートケーキやタルトが並んでいて、早くも地元の人気店として注目されています。



ギフトにおすすめの焼き菓子



お店のシンボルの柱時計

町家浪漫菓子 中嶋菓子店
 ●長浜市北船町4-19
 ●TEL. 0749-59-3005
 ●営業時間 10:00~19:00(売り切れ次第閉店)
 ●定休日 火曜日(月曜日不定休)

取材話

2025年の秋に、1981年の『びわこ国体』以来44年ぶりに滋賀県で開催される『第79回国民スポーツ大会』と『第24回全国障害者スポーツ大会』。今回の特集では大会に向けて新しく建設された「滋賀ダイハツアリーナ」と『平和堂HATOスタジアム』をご紹介します。

近年、アリーナやスタジアムの建設において、特に公的な施設については、コンパクト化などで建設費用を抑えるだけでなく、周辺環境や自然環境への配慮、ライフサイクルを見据えた維持管理の効率化などが求められるようになってきました。

さらに、完成後長きにわたりその施設がどのように活用されるのか、健康づくりやスポーツ振興、地域の活性化や災害時の拠点施設などとして、どのように役立てていけるかが問われています。

のトイレが設置されているのが印象に残りました。

『平和堂HATOスタジアム』は建物全体のコンパクト化を図って、周辺環境との調和に配慮したほか、外壁側面には塗装費用が軽減できるコルテン鋼(耐候性鋼)という建材が採用されています。コルテン鋼材は表面は錆びても、中まで錆びないため長く強度が保てるうえ、塗装が不要で年月とともに風合いが変わっていくのが特徴です。



独特の風合いのあるコルテン鋼材を用いた外壁



『滋賀ダイハツアリーナ』に設けられた補助犬用のトイレ

『滋賀ダイハツアリーナ』は、滋賀県産の素材を圧縮・コーティング加工した床材を採用することで、ワックスがけの手間を省いてメンテナンスにかかるコスト軽減を図りました。また、障がいのある選手のための更衣室などバリアフリーに配慮しているほか、屋外には補助犬専用

前号の答え サッカー

パズル&クイズ当選者

- 植松 幸子さん
- 中尾 義雄さん
- 澤田 務さん
- 金岡 明光さん
- 野村 亨子さん
- 宮脇 達也さん
- 種村 律子さん
- 中小路進一さん
- 長原 満洋さん
- 乗松 賢二さん

応募方法

- P&Q及びアンケート(返信用添付ハガキ)の両方にお答えいただいた方の中から抽選により粗品を進呈します。ふるって応募ください。
- 別のハガキにてご応募の方も住所、勤務先(学校名)、氏名及びP&Qの答え、アンケート、メッセージ等を書いて送付してください。
- 締め切り 令和5年6月20日必着
- あて先 〒520-0801 大津市におの浜一丁目1-18 (-社)滋賀県建設業協会 広報委員会

After Word

皆様 新年度もスタートし、ますます元気に日々をお過ごしですか。

3月13日以降、マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本となりましたが、花粉症の私にとりまして、マスク解禁は、もう少し先のこととなりそうです。

さて、今号の表紙を飾っております「夢けんプラザ絵画コンクール」入賞作品ですが、いずれも力作ぞろいの中から審査・選考された作品だけあって、目を見張る絵となっております。コロナ禍で応募が減少するのではないかと心配しましたが、多数のご応募ありがとうございました。

まるで生き物のような生命感あふれる表現で建設機械を魅力的に描いた作品や、建設現場でイキイキと働いている人たちの姿をとらえた作品が多く見られました。今号の誌面で受賞作品も紹介しておりますので、是非ともご覧ください。

今回の取材に、ご協力いただきました皆様、ご多忙なところ快くご対応いただき、誠にありがとうございました。

フォトコンテスト入賞作品について、1枚の写真から伝わる“気”がすごいです。

『近江うまいもの紀行』を見て、滋賀県にはまだ隠れた名品があるのだと感心させられました。

フォトコンテストに入賞できる作品を以前から応募したいと思っています。写真を撮影した時の話などを受賞者から聞いてみたいです。

フードバンクについては、長浜市でも活動されている団体があり、関心を持っています。

自分もフォトコンテストに応募したので、作品紹介が一番先に見ました。まずは入選を目指して次回がんばります。

『びわこコーラ』が気になりました。入れ物がいかにもシロップという感じで、飲んでみたいという気持ちになりました。

VOICE 読者の声

フォトコンテストに毎年応募しています。以前は建設関係に興味がなかったのですが、貴誌を見だしてから、建設に興味がわいてきました。



一般社団法人 滋賀県建設業協会
www.yumeken.or.jp